



新原・奴山古墳群の一年間

令和2年度の主な取り組みをまとめてみました

月	取り組み内容
4月	30号墳保存修理工事がスタート
7月	「海の日世界遺産めぐり」イベントを開催 勝浦郷づくりや事業者の皆さん、小学生、市職員など、約150人がコスモスの種まき
9月	30号墳発掘調査の現地説明会を開催 5館連携展示会を開催
10月	勝浦郷づくりの皆さん、勝浦小学校3・4年生、市職員など、約100人が菜の花の種まき 新原・奴山古墳群整備計画策定のための第1回市民ワークショップを開催 「花いっぱいWeeks」 ^{ウィーク} イベントで約50団体、延べ500人の市民が菜の花の種まき
12月	新原・奴山古墳群整備計画策定のための第2回市民ワークショップを開催 ふんちゃんの絵を津屋崎中学校美術部へ依頼し記念写真用パネルを制作
3月	発掘調査速報展を開催 新原・奴山古墳群整備計画策定のための第3回市民ワークショップを開催 あんずの里のイベントで制作されたかかしを借りて古墳の菜の花と共演 15号墳・30号墳発掘調査現地説明会を実施



に沿って「柵などで進入を制限しては」「古墳群の価値をみんなが深く学べるように情報発信することで、守り伝えるようになるのでは」などの意見が出ました。
テーマ②のように古墳を調べて生かしていくか
「未調査古墳を発掘してみてもどうか。すごい発見があるかも」といった意見が出ました。

古墳を活用し
明るく未来に
九州歴史資料館 吉村靖徳さん 第3回 3/5
テーマ 古墳公園を皆さんが
主役の立場でどう使うか
皆さんの緊張も和らいだ第3回は、より活発に議論しました。「花や馬車など、らしさを生かし、多くの人に興味を持ってもらう」「VR^{ブイアル}などで体感できるようにし、観光

客にも喜んでもらえるように」などの意見が出ました。
◆◆◆◆◆
計画策定に向けての
今後の予定
◆◆◆◆◆
今までの多くのご意見を精査し、新整備計画素案に盛り込みます。これを第4回、第5回のワークショップで話し合います。また、専門家や文化庁とも協議し、今年度中の完成を目指します。

新原・奴山古墳群新整備計画策定ワークショップ中間報告



世界遺産の未来を考えよう!!

新原・奴山古墳群がより一層市民の皆さんや来訪者に愛される世界遺産となるよう、現在、しっかりとコロナ対策をしながら、市民参画で新たな整備計画づくりに取り組んでいます。公募の24人の市民とのワークショップの内容を、途中経過ですが一部紹介します。

問い合わせ 市文化財課 ☎43・8134

見せ方を工夫し
よりよい景観に
佐賀大学 重藤輝行さん 第1回 10/26
テーマ①古墳群や地域の景観の良いたとこ
初めての顔合わせということもあり、緊張した面持ちの皆さんでしたが「古墳だけを売りにするのはなく、季節の花などで彩り地域振興につながるように」「古墳を含めた勝浦の魅力をもっと生かしては」などの意見が出ました。
テーマ②世界遺産として古墳群をどうしていくか
「説明板を充実してほしい」「気軽に歩いて、学習や体験ができれば」「古墳広場を整備して」「石室^{いしむろ}の内部を見学できたら」「古代の暮らしが分かる展示を」など、整備方法の意見が出ました。
古墳を守り
生かしていく
九州大学 辻田淳郎さん 第2回 12/14
テーマ①古墳を守っていくには何をしたらよいか
北風が吹く寒い日に集まっていた第2回。テーマ

声

新原・奴山古墳群について思い描く未来を、ワークショップに参加いただいているかたに聞いてみました。

回遊性が必要では
もつと観光客が訪れるようになり、地元の勝浦地域の活性化につながるしてほしい。例えば、あんずの里と古墳群を馬車で結び、回遊性を確保したりはできないか。

誇れる場所に
福津の宝、世界の宝である古墳群の価値を、分かりやすく子どもから大人までに伝え、学習の場としても、もつと活用し、みんなが誇れる場所になってほしい。

魅力ある風景
季節ごとに風景が移ろう魅力ある場所、かかしや花などの四季折々の見所もある。サイクリングや散歩など、市民にとっても楽しめる憩いの場になってほしい。

家族で疑似体験できたら
古代米の栽培、刈り取り、火おこし、炊飯など、古代の生活を疑似体験できるようなイベントを開催し、家族連れの観光客などがたくさん来訪するようになってほしい。

五感で感じる
古墳の素晴らしい景色を堪能しながら、五感で感じる体験スペースがあると、古代へタイムスリップした気分が味わえ、もつとワクワクした気持ちになると思う。

共働で活性化を
勝浦には豊かな自然や景色がある。花いっぱい活動などを地域と行政が一緒になって汗をかきながら行えば、市内外からも多くの人が訪れると思う。

相乗的な活性化を
古墳まつりなどのイベントを商工会と一緒に実施してはどうか。
そうすることで市内外からの古墳への来訪者数が今よりもさらに増えると思う。



市商工会事務局長
高田和久さん



勝浦郷づくり事務局員
花田孝信さん



市観光協会副会長
増田美佐子さん



古墳清掃新原地区代表
谷口知文さん



市観光ボランティア
いさば会会長 有吉敏高さん



勝浦小地域コーディネーター
西田明日香さん



あんずの里市利用組合組合長
荻原哲夫さん